

第 14 回北海道高等学校長協会家庭部会 意見・体験発表大会 開催要項

- 1 目 的 全道の高等学校で普通教科「家庭」、専門教科「家庭」、「福祉」を学んでいる生徒が、日頃の学習成果について意見や体験を発表するとともに、生徒相互の交流を通して、「生きる力」を育み、家庭・福祉教育の充実を図る。
- 2 主 催 北海道高等学校長協会家庭部会
- 3 後 援 北海道教育委員会、北海道産業教育振興会
- 4 主管校 北海道江別高等学校
- 5 発表者 北海道内で家庭・福祉を学ぶ高等学校生徒による発表（公募）
- 6 申込校 8 校（釧淵高校・余市紅志高校・江別高校・幕別清陵高校・石狩翔陽高校・当別高校・三笠高校・置戸高校）

7 日 時 令和 8 年 8 月 28 日（金） 10 時 30 分 ～ 15 時 20 分

10:30～	11:00 ～11:45	11:45 ～11:55	11:55 ～12:30	12:30 ～12:45	12:50 ～14:10	14:20 ～14:55	15:00～ 15:20
受 付	リハーサル	発表者打合せ 審査員打合せ	昼食	開会式	発表 発表者 8 名 (途中休憩あり)	意見交流会 審査員会議	閉会式

- 8 会 場 北海道江別高等学校 視聴覚教室（発表会場）・会議室（発表者控室）
生活デザイン室（1 年生控室）

9 内容等

- (1) 家庭・福祉教育に関わりの深い意見・体験について発表します。
- (2) 発表時間は、1 発表 7 分以内で、言葉による表現とします。
※ 発表用補助器材（パソコン及びプロジェクター等）は使用しない。
- (3) 審査終了後、結果発表及び講評を行い、賞状を授与します。

10 表彰及び審査基準

(1) 表 彰

最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名について、賞状を授与する。また、産業教育振興会代表校推薦を行い、賞状を授与する。

(2) 審査基準

- ア 採点は論旨 15 点、表現 5 点、態度 5 点、経験 5 点の合計 30 点とする。
- イ 全審査員の合計点を集計し、総得点で順位を決定する。
同点の場合は、審査員の審議によって決定する。
- ウ 発表時間は 7 分とし、次のように評価する。
 - ・ 時間計測は発表者の第一声から開始し、「……終わります」の言葉で終了とする。
 - ・ 7 分を超えるものは、総点より 2 点を減じ、以下 30 秒毎に 2 点を減じる。